

サポートに登録したほか、さっぽろ子育てサポートセンター（ファミサポ）や子ども緊急サポートネットワーク、週1回の家事支援サービスなどを利用しています。というたびばりばりと全力で働いているように受け取られるでしょうが、内実は、漠然としたキャリアへの不安、家庭内外の事柄を同時進行させ続けていくことへの疲れを抱えています。

今回の懇談会では、似た環境にいる、またはいた方にお会いする機会に恵まれました。育児のサポートがほとんどない厳しい時代の経験談には、まだ私の現在の環境を整備する余地があることに気付かされました。また、サービスを受けるにあたり、既存にはないものでも自分から積極的かつ具体的に要求していく姿勢が必要との意見には、目から鱗が落ちる思いでした。

行政、医師会としては、今後家庭に埋もれている女医の復職支援はますます重要になるでしょう。時間がかかる手探りの事業ですが、私のように不安な気持ちを持つ女医が意見を表出する機会を作ること、足がかりの一つになるのではないかと思います。私は、今回の懇談会に参加して非常に救われた気持ちになりましたし、今度の生き方により明るいイメージを持たたと感じています。ありがとうございました。

相談窓口利用者との懇談会

菊池 紅

今回の懇談会では、問題点がさまざまな視点から挙げられたので、課題が山積みであることがよく分かりました。今後はこれらの問題点を大別し議題を立て、次回以降は具体的な方策を出しあって方針を決めて行ったらよいのではと思いました。貴重な経験と知識、そして人脈をそれぞれが持っているこの懇談会では、きっと今後も良い話し合いができると思いますし、これを震源として他に波及させていくことも可能であると思います。あの場所に参加できない先生もたくさんいらっしゃるはずで、そういったところにも情報を流し、また情報をもって医師会に提供できればなお良いと思われます。

個人的には、同じような環境の先生方や、支援くださっている先生方と直接お話ができることにより、随分と心強く感じました。復帰を迷っていらっしゃる先生方も、具体的な話はさておき、懇親会の機会があれば、まずこのような空気を肌で感じられてよいのではないかと思います。また、復帰後の医師にとって、こういった場で仕事の人脈ができるのも良いことです。

貴重な勉強の場をありがとうございました。参加して本当に良かったです。

北海道医師会は、 北海道に在住するすべての医師が利用できる 女性医師等支援事業を 推進しています。

北海道医師会は、医師の育児支援や仕事と家庭の両立を支援するために現役の先輩医師による相談窓口を開設しています。この窓口は、北海道に在住するすべての医師が利用できます。詳しくは、下記専用ホームページをご覧ください。

- 相談窓口 ●育児支援 ●復職研修支援 ●介護支援

北海道医師会 女性医師等支援相談窓口

●詳しくはこちらをご覧ください 「女性医師等支援相談窓口」専用ホームページ <http://www.hokkaido.med.or.jp/josei-dr-shien/>
●ご相談はこちらへ ☎ 0120-112-500 ■FAX 011-231-7272 ■E-mail josei-dr-shien@m.douji.jp
北海道医師会 〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目 <http://www.hokkaido.med.or.jp/>

男性医師の
アクセス歓迎

